

序

2004年4月から卒後臨床研修が必修化され、新医師臨床研修制度が始まりました。新制度のもとで、複数の科で幅広い診療経験を積み、患者を全人的に診ることにより基本的診療能力を獲得することは医師という人生をスタートする研修医にとって生涯の礎となる貴重な経験になると思います。今回、消化器内科をローテートする前期研修医を対象として、研修でマスターすべき消化器内科の基礎知識と技能を網羅した消化器内科研修チェックノートを企画編集しました。本書の執筆者は2005年から2007年の間にNTT東日本関東病院消化器内科で消化器内科にローテートする研修医を直接指導した熱血中堅医師達です。NTT東日本関東病院の指導医は、30倍の難関を勝ち抜いた優秀な研修医達の知的好奇心や向上心を満たすために、日夜一流の理論、エビデンスを習得し、臨床現場では神業的な手技を披露し指導しております。本書には多数の研修医の指導を実際に行っている医師にしか書けないエッセンスが詰まっており、それを読むことで同病院の研修医あるいはそれ以上の能力が短期間でつくよう工夫されております。将来の日本の医療を担う若い医師が本書で消化器内科の真髄を学び、消化器内科に興味を持ち、最終的には患者のために働くよい医師に育っていただければ編者として望外の幸せです。

最後に本書の企画、編集、制作に多大なご努力をいただいた羊土社編集部の鈴木美奈子氏、菊地直子氏にお礼を申し上げます。

2007年7月

柴田 実